

石 二 小 だ よ り

第59号 平成29年1月31日（火）発行 文責：鈴木

【電話】0244-22-2724 【ホームページ】http://www.minamisoma.gr.fks.ed.jp/?page_id=145

平成28年度重点目標「考えをつたえ合おう」

全国学校給食週間にちなんで

1月24日から30日までは、「全国学校給食週間」でした。学校給食は明治22年に山形県で始めて以来、各地に広がっていきましたが、戦争の影響などで中断されました。戦後、食糧難による子どもの栄養状況の悪化を背景に、その実施の重要性が叫ばれるようになり、昭和21年6月にアメリカの民間団体LARA（Licensed Agencies for Relief in Asia）により、給食用物資寄贈の申し出があったことを踏まえて、昭和22年12月24日にまず試験的



《1月24日の給食・カジキカツ》

に東京都、神奈川県、千葉県で児童約25万人に対して学校給食を実施することになりました。それ以来、この日を「学校給食感謝の日」と定めていましたが、給食用物資の寄贈に対する感謝の意を表するとともに、学校給食の将来への発展を期し、学校給食による教育効果を促進する機運を高める観点から、冬休みと重ならないように、新たに1月24日から30日までの1週間が「学校給食週間」とされました。

今日では、子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取や肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られるようになってきました。そのような中で、学校給食は、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。昨年11月に県教育委員会が実施した朝食摂取に関する調査では、「1週間毎日朝食を食べる」という小学生の割合が南相馬市では平均90.1%、県全体では98.5%でした。



《1月27日の給食・とんこつラーメン》

市内の小・中学校でもこの期間、学校給食週間にちなんで「がんばろう福島&九州！応援献立」が実施されました。24日（火）にはいわき海星高校生が海洋実習で捕ってきたカジキマグロ、25日（水）には佐世保バーガー、26日（木）にはさつま汁、27日（金）にはとんこつラーメン、30日（月）には筑前煮とじゃこふりかけなどが出ました。いつもにも増して、九州のおいしい食を味わうことができました。

《裏面もご覧ください》

インフルエンザやノロウイルスが流行しています

◆ インフルエンザ情報

福島県感染症情報センターは25日、県内のインフルエンザ患者数が増加傾向にあると発表しました。1月16日から22日までの週の患者数は、県全体で1医療機関あたり平均21.79人で前の週よりも増加しており、注意報レベルに達しています。特に相双地区の患者数は27.60人と県平均を上回っており、警報レベル（1医療機関あたり30人）目前です。



◆ ノロウイルス情報

国立感染症研究所は、年末年始に大流行が収まっていたノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の患者数が、15日までの1週間に再び増え始めたと発表しました。ノロウイルスは、非常に感染力が強く低温での生存力が強いいため、気温の低い冬季に大流行する傾向があります。感染すると、1～2日程度の潜伏期間を経て腹痛や吐き気、嘔吐、下痢が起こります。健康な成人であれば1～2日で症状は治まる場合もありますが、小児や高齢者などは脱水症状などで入院を要することもあります。

ノロウイルスによる胃腸炎は、人の手を介して口からウイルスが侵入して発症します。アルコール消毒はノロウイルスに効果がないため、その予防として手洗いが最も大切です。石けんを使ってこすり洗いをして流水で十分に流すことで、手に付いたウイルスを減らすことができます。帰宅時、調理や食事の前、トイレの後などは、こまめな手洗いを習慣化してください。また、調理の際は、食品を85～90℃で90秒以上しっかり加熱するようにしましょう。

感染した人の嘔吐物や便には大量のノロウイルスが含まれており、乾いた嘔吐物が宙に舞い上がり、それを吸い込んで感染したという例もあります。処理をする際には、使い捨て手袋とマスクを付け、絶対に素手でさわることをないようにしてください。汚れた衣類、床、食器などは、水で薄めた塩素系漂白剤など次亜塩素酸による消毒が有効です。

まだまだ寒さの厳しい日が続くことと思います。冬季に流行するインフルエンザやノロウイルスから身を守るために、一人一人が気を付けましょう。そして、体調が思わしくない場合は、無理をせずにゆっくり休養したり医療機関を受診したりしましょう。